

大人も子どもも楽しく真剣勝負！ 冬休み 百人一首交流会



1月19日（日）に文化協会主催事業『冬休み 百人一首交流会』が公民館で開催されました。公民館グループ・サークルの砂川百人一首かるたクラブが主管し、子ども7人・大人23人、合計30人参加しました。はじめて経験する方もおり、クラブのみなさんの手ほどきを受けながら、「ぼうずめくり」や北海道独特の「下の句かるた」にチャレンジしていました。チャレンジの終了後は、北海道の百人一首の特徴である「木札」を使った抽選会を楽しみました。

なかには、この日参加したことをきっかけに、百人一首に興味を持たれた方もいたそうです。砂川百人一首クラブは随時会員を募集しています。関心のある方は見学してみたいかごでしょうか？



↑はじめてでも楽しめる「ぼうずめくり」。いつ坊主が出るか、緊張しながらめくってっていました。最後に坊主が出て大逆転となる場面もあり、大盛り上がりでした。



↑はじめて百人一首に触れる子どもたちは、比較的読みやすい札を中心に挑戦。札を取るときには「はい！」と元気な声が響きました。



↑慣れた人は砂川百人一首かるたクラブの皆さんと実戦形式に挑戦。一進一退の攻防が繰り広げられ、子どもと大人、世代を超えて百人一首を楽しんでいました。



↑最後は抽選会！自分の好きな札を10枚選び、読み上げられた札をもっている人が当選。皆さん、自分の札が読み上げられるか、ドキドキの抽選会でした。